

女子サッカーワールドカップキャプテンの腕章—ジェンダー平等をアピール



▲「ジェンダー平等 (Gender Equality)」の腕章を付けた日本の熊谷沙希主将 (右)

スポーツの世界で達成された重要な進歩を祝うと同時に、フィールドの内外で男女不平等をなくすためにやるべきことがまだまだたくさんあることを忘れてはなりません。

- 世界全体で見ると男性の収入1ドルに対して女性の収入は77セントに過ぎません。
- 既婚女性が既婚男性と同じように仕事を得たり、職業を追求したりする権利を持っていない国が19か国もあります。
- 現在、世界で6億5,000万人の女性が18歳以前に結婚しています。
- プロの女性アスリートの21%近くが、子供の頃にスポーツで性的虐待を受けた経験があり、その割合は男性アスリートのほぼ2倍にあたります。
- 世界各地で、ワールドカップのようなメガスポーツの開催期間中に、家庭内暴力に関する警察への通報が増加しています。2020年の東京オリンピックの際には、女性アスリートの87%が、Tweetによる虐待の対象になりました。

残念ながらこれが現状です。だから、**男女平等のために団結しましょう!** 女子がプレーし、学ぶことで、私たち全員が勝利するのです。女子ワールドカップの期間中、スポーツを通じてより多くの女子が試合を、そして世界を変えられるよう、私たちに力を貸してください。これ以上の目標はありませんし、これ以上の勝利もありません。

国連ウィメン日本協会メールマガジン第97号(2023年8月)より

西東京市 「非核・平和都市宣言」

私たちは生きている。
おおくの人々が、それぞれの習慣や宗教をもち
様々な考え方や、異なる環境の下で生活している
この地球で

私たちは持っている。
この地球上で、健康で幸せな生活をする権利を
異なる考え方の人々を差別しない義務を

私たちは知っている。
おおくの人々が、今なお戦争で傷つき命を失っていることを
住みなれた平和な生活の場を追われて飢えていることを

私たちは訴える。
必要なのは笑顔での話し合いであることを
必要なのは人類愛と思いやりであることを

私たちは宣言する。
あらゆる人を傷つける地雷や武器をなくすことを
あらゆるものの破壊を招く核兵器をなくすことを
地球上から戦争をなくすことを

私たち市民のこの声と願いを
世界に広く訴えるために
非核、平和都市 西東京市の
宣言とする。

平成14年1月21日
西東京市

8月は、6日、9日、15日と、私たちが忘れてはいけない
平和と戦争を考える大事な日が続きます。
あの惨禍を再び繰り返さないために、西東京市と同様に
「非核・平和」を宣言している自治体はたくさんあり
ますが、昨今の政府の動きを見ているとどこか不安で
心が落ち着きません。その理由は、宣言とは真逆の、
「核と戦争」の文字がちらつくからです。各自自治体・議会
には宣言に恥じぬよう、市民が安心できる非核・平和政
策を進めてほしいですね。

講演・講座／オンライン (Zoom) 参加しました

■ **福島から12年—改めて脱原発をめざす!**
上映 原発をとめた裁判長、そして原発をとめる農家たち
講師 松久保肇 (原子力資料情報室事務局長)
報告 及川幸子 (宮城県南三陸町議)
報告 布田恵美 (宮城県岩沼市議)
主催 市川房枝記念会女性と政治センター 対面 8/4

■ **関東大震災100年 防災を考える**
講師 武村雅之 (名古屋大学特任教授)
主催 朝日新聞 記者サロン オンライン 8/4

■ **みんなで獲得した「不同意性交等罪」～次の一歩へ～**
講師 伊藤和子 (弁護士・ヒューマンライツ。ナウ副理事長)
雪田樹理 (弁護士・女性共同法律事務所)
後藤弘子 (弁護士・千葉大学大学院教授) ほか
主催 NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ オンライン 8/8

■ **世界のパリテの現在地—Qの会勉強会 #8**
講師 村上彩佳 (専修大学法科大学院教授)
主催 クオータ制を推進する会 オンライン 8/9

■ **NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM …検索**
「原爆展」オンラインミュージアム
応援メッセージアクトニオ・グレーテス (国連事務総長)
中満泉 (国連軍縮担当上級代表)
共催 日本原水爆被害者団体協議会・NPO 法人ノーモア
ヒバクシャ記憶遺産を保存する会

■ **形骸化した専守防衛の先は～戦前史から見えるもの**
講師 保阪正康 (ノンフィクション作家)
主催 東京新聞—ニュース深堀り講座 Zoom 8/17

■ **ジェンダー視点からみたロヒンギャ難民キャンプの6年
～女性の権利と健康の国際潮流～**
講師 米良彰子 (世界の医療団 事務局長)
木田晶子 (世界の医療団日本メディカル・コーディネーター)
勝部まゆみ (NGO ジョイセフ理事長)
共催 世界の医療団日本 & ジョイセフ オンライン 8/25
★ジョイセフは世界の妊産婦と女性の命と健康を守るために活動している
日本生まれの国際協力 NGO です。